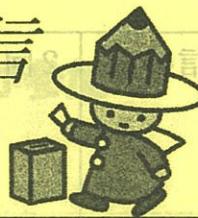


あおばイコット通信



平成27年 9月号

＜編集・発行＞

青葉区明るい選挙推進協議会

〈事務局〉

青葉区総務課統

TFI · 978-2205

FAX: 978-2410

卷之三



～青葉区明るい選挙推進協議会の



平成27年度事業計画～

青葉区明るい選挙推進協議会（以下、明推協と表記します）は、平成27年6月10日に定期会議を開催し、平成27年度の事業計画を策定しました。区民のみなさまに「あおばイコット通信」を通じて、事業の概要をお知らせいたします。明推協の活動は、推進委員・推進員だけでなく、大勢の方のご協力・ご支援に支えられております。引き続き、よろしくお願ひいたします。

平成27年度事業計画 (概要)

No.	事業名	実施時期	事業の概要
1	定例会議	6月（実施済）	前年度の事業実績・決算報告、当年度予算・事業計画の審議を行います（推進委員）。
2	青葉区明るい選挙 推進協議会 推進委員・推進員 研修会	7月（実施済） 別に記事を作成 しています。	不正のないきれいな選挙の実現と、投票率向上のための啓発活動や研修会を開催します。併せて選挙への関心と啓発活動への理解を高めています。
3	青葉区民まつり	11月3日	ブースを出店し、活動のPR・選挙クイズ付きのフランクフルト販売などを実施します。推進委員・推進員が会場内を巡回して選挙啓発活動も行います。 区内中学校に依頼し、青葉区選挙マスコット「えら坊」の着ぐるみを着用して来場者と触れ合う企画も実施します。
4	企画運営チーム 会議	年間を通じて 2回を目安 (7月に1回目 を開催済)	明推協事業の実施に際して、推進委員・推進員希望者で構成されたチームが主体となり、選挙やイベント時等の選挙啓発活動について、効果的な実施方法等を検討します。

5	イコット通信の発行	2回	各種事業などを紹介する広報紙「イコット通信」を発行します。区連会を通じて各自治会回覧板への添付を依頼し、推進委員・推進員だけでなく区民のみなさまに選挙啓発活動の広報を行います。
6	せんきょ フォーラム (出前授業・ 模擬選挙)	1月前後	将来の有権者である小学校6年生を対象に出前授業と模擬投票を実施します。 実際の選挙機材に触れてもらい、選挙への関心を高めてもらうとともに、児童を通じて保護者の方々への啓発効果も見込んでいます。
7	投票器材貸出	通年	選挙についての理解を深め、親しみをもつてもらうため、区内の学校などに本物の投票箱・記載台などを貸し出します。 生徒会役員選挙や選挙学習の教材としての活用実績があります。
8	メディアへのPR	通年	啓発事業の一環として、各種メディアへの情報提供を積極的に行い、効果的な選挙啓発と周知に努めます。
9	臨時啓発活動	4月(実施済) (下の記事をご参考ください)	統一地方選挙の投票参加促進のため、街頭啓発などを実施します。

～ 統一地方選挙（平成27年4月12日執行）に伴う

街頭啓発「ザ・イコット」～



統一地方選挙（県知事・県議会・市議会）の投票日を控えた週末に、明推協による街頭啓発活動（4月4日 あざみ野駅、4月5日青葉台駅）を実施しました。プラカードやのぼり旗を掲げ、駅を利用される方々に投票参加と明るい選挙を呼びかけ、ティッシュペーパーをお配りしました。

研修会のご報告

～推進委員・推進員 54名が参加～



平成27年7月22日、明推協推進委員・推進員の方々を対象に「18歳選挙権と啓発活動」

をテーマとした研修会を開催しました。

講師には、埼玉県さいたま市の明推協でもご活躍中の埼玉大学社会調査研究センター長 松本 正生 氏をお招きしました。

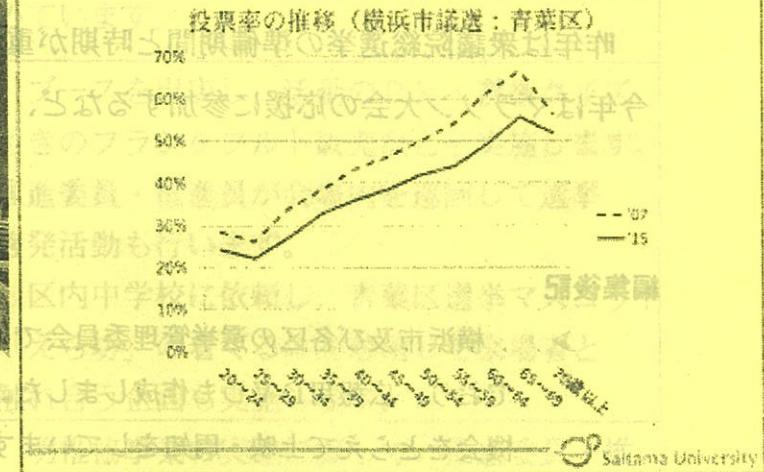
選挙権年齢に達してから最初の選挙で投票するかどうかによってその後の投票行動に影響すること、青葉区での投票率（定期的に実施される市議会議員選挙）での投票率低下の度合いは若年層よりも中高年層の方が大きいこと等を分かりやすく講義していました。

また、全国的に投票所の数が削減されていること、投票日当日には指定された投票所でしか投票できない現行制度上の課題についても解説していただきました。今後は、駅やショッピングセンターなど利便性の高い場所でも当日の投票を可能にするなどの対策を講じていくことが重要、とのご提案も頂きました。

青葉区では小学校6年生を対象とした出前授業を開催していますが、18歳選挙権を踏まえて対象を中学生・高校生にも拡大してはどうか、などの意見がアンケートで寄せられました。



SSRC 地方選挙の実情



研修会は区役所4階会議室で開催されました

年代別投票率（研修会資料から抜粋）

吉野家の会員登録



~2015青葉区民まつり(11月3日)に出店します~

フランクフルトの販売を今年も実施

明推協では、選挙啓発活動の一環として例年「青葉区民まつり」に出店・参加しています。今年度についても明推協のブースを出店し、活動PR、選挙啓発アンケートの実施、パネル展示、クイズ付きフランクフルトの販売を行います。

毎年恒例となりご好評をいただいているフランクフルト販売での「選挙クイズに正解した購入者へは1本進呈する」企画も予定しておりますので、ぜひ皆様お誘いあわせのうえ明推協ブースへお立ち寄りください。

~青葉区民マラソン大会に今年も協賛します~ ランナーへの選挙啓発物品の配布を準備中

青葉区民マラソン大会は昨年（平成26年）から始まり大盛況でした。明推協では「青葉区制20周年」と「選挙権年齢の20歳」とを結びつけ、ランナーへの記念品の提供という形で連携（コラボレーション）をいたしました。

来年（平成28年）夏の参議院選挙から選挙権年齢は18歳に引き下げられる予定です。明推協としては、若年層を中心としたPR・啓発が重要であると考えています。

昨年は衆議院総選挙の準備期間と時期が重なって慌ただしい状況がありましたが、今年はマラソン大会の応援に参加するなど、さらに関与を深めたいと考えています。

編集後記

- 横浜市及び各区の選挙管理委員会では、誰もが投票しやすい環境づくりに取り組んでおり、広報用DVDも作成しました。青葉区明推協では、定例会議や研修会などの機会をとらえて上映・周知をしています。投票所の風景では、（区民まつりや選挙時の街頭啓発活動でおなじみの）明推協ジャンパー（黄緑）を着用した従事者が登場します。横浜市選挙管理委員会ホームページで動画を公開していますので、ぜひご覧ください。